

— 第25期 —

決算説明会

2006年6月2日

SEC

Globality Engineering Maker

株式会社 エスイー

第25期損益計算書(連結)

単位:百万円

科目	平成17/3期	平成18/3期	増減額
I 売上高	8,739	9,271	532
II 売上原価	6,330	6,430	100
売上総利益	2,408	2,841	432
(売上総利益率)	(27.6%)	(30.6%)	(3.0)
III 販売運賃・販売手数料	268	352	84
IV その他販売・管理原価	2,269	2,155	△113
営業利益	△129	332	461
V 営業外収益	50	91	41
VI 営業外費用	44	34	△9
経常利益	△123	389	512
VII 特別利益	4	0	△4
VIII 特別損失	51	12	△38
税金等調整前当期純利益	△169	376	546
法人税・住民税・事業税他	△47	162	209
当期純利益	△122	214	336

分野別売上高・粗利益 (連結)

単位:百万円

区 分		平成17/3期		平成18/3期		
		百万円	構成比	百万円	構成比	増減率
環境防災事業	売 上	6,962	79.7%	7,642	82.4%	9.8%
	粗 利 益	2,119		2,565		21.0%
	利 益 率	(30.4%)		(33.6%)		(3.2)
社会インフラ事業	売 上	1,628	18.6%	1,372	14.8%	△15.7%
	粗 利 益	266		207		△22.1%
	利 益 率	(16.4%)		(15.1%)		(△1.3)
バイオマスその他	売 上	149	1.7%	256	2.8%	72.4%
	粗 利 益	21		67		209.7%
	利 益 率	(14.7%)		(26.4%)		(11.7)
合 計	売 上	8,739	100%	9,271	100%	6.1%
	粗 利 益	2,408		2,841		17.9%
	利 益 率	(27.6%)		(30.6%)		(3.0)

第25期貸借対照表(1) (連結)

単位:百万円

科目	平成17/3期	平成18/3期	増減額
資産の部			
現預金	817	1,439	621
営業債権	4,952	5,174	222
棚卸資産	827	962	134
その他	293	213	△79
流動資産 計	6,890	7,790	899
有形固定資産	3,115	3,014	△101
無形固定資産	71	49	△22
投資その他の資産	1,452	1,131	△320
固定資産 計	4,639	4,195	△444
資産合計	11,530	11,985	454

第25期貸借対照表(2) (連結)

単位:百万円

科目	平成17/3期	平成18/3期	増減額
負債の部			
営業債務	3,479	3,482	2
一年内返済長期借入金	354	462	108
一年内償還社債	184	184	—
その他	224	405	180
流動負債 計	4,242	4,534	291
社債	570	386	△184
長期借入金	570	788	217
退職給付引当金	317	340	22
その他	369	341	△27
固定負債 計	1,827	1,856	28
負債合計	6,070	6,391	320
資本の部			
資本金その他	5,628	5,725	97
有価証券評価差額金	3	63	59
為替換算調整勘定	5	35	29
自己株式	△177	△230	△53
資本合計	5,459	5,593	133
負債・少数株主持分・資本合計	11,530	11,985	454

キャッシュフロー計算書 (1) (連結)

単位:百万円

科目	平成17/3期	平成18/3期	増減額
I 営業活動によるキャッシュフロー			
税金等調整前当期純利益	△169	376	546
減価償却費	213	194	△18
売上債権の増減額 (増加:△)	242	△222	△465
棚卸資産の増減額 (増加:△)	△266	△134	132
仕入債務の増減額 (減少:△)	446	14	△432
法人税等の支払額	△229	△9	220
その他	29	7	△22
計	266	226	△39
II 投資活動によるキャッシュフロー			
有形固定資産の取得による支出	△296	△73	223
無形固定資産の取得による支出	△13	△11	2
投資有価証券の取得による支出	△10	△203	△193
投資有価証券の解約による収入	—	663	663
その他	△45	49	94
計	△366	424	790

キャッシュフロー計算書(2) (連結)

単位:百万円

科目	平成17/3期	平成18/3期	増減額
III 財務活動によるキャッシュフロー			
長期借入による収入	150	800	650
長期借入の返済による支出	△402	△474	△72
社債発行による収入	539	—	△539
社債償還による支出	△129	△184	△55
親会社による配当金の支払額	△117	△117	0
自己株式取得による支出	—	△53	△53
計	40	△28	△69
IV 現金及び現金同等物 増減額	△59	621	681
V 現金及び現金同等物 期首残高	791	732	△59
VI 現金及び現金同等物 期末残高	732	1,354	621

SECグループの中期経営戦略

SEC

Globality Engineering Maker
SE CORPORATION

(SECグループの中期経営戦略)

I. 事業の経過報告

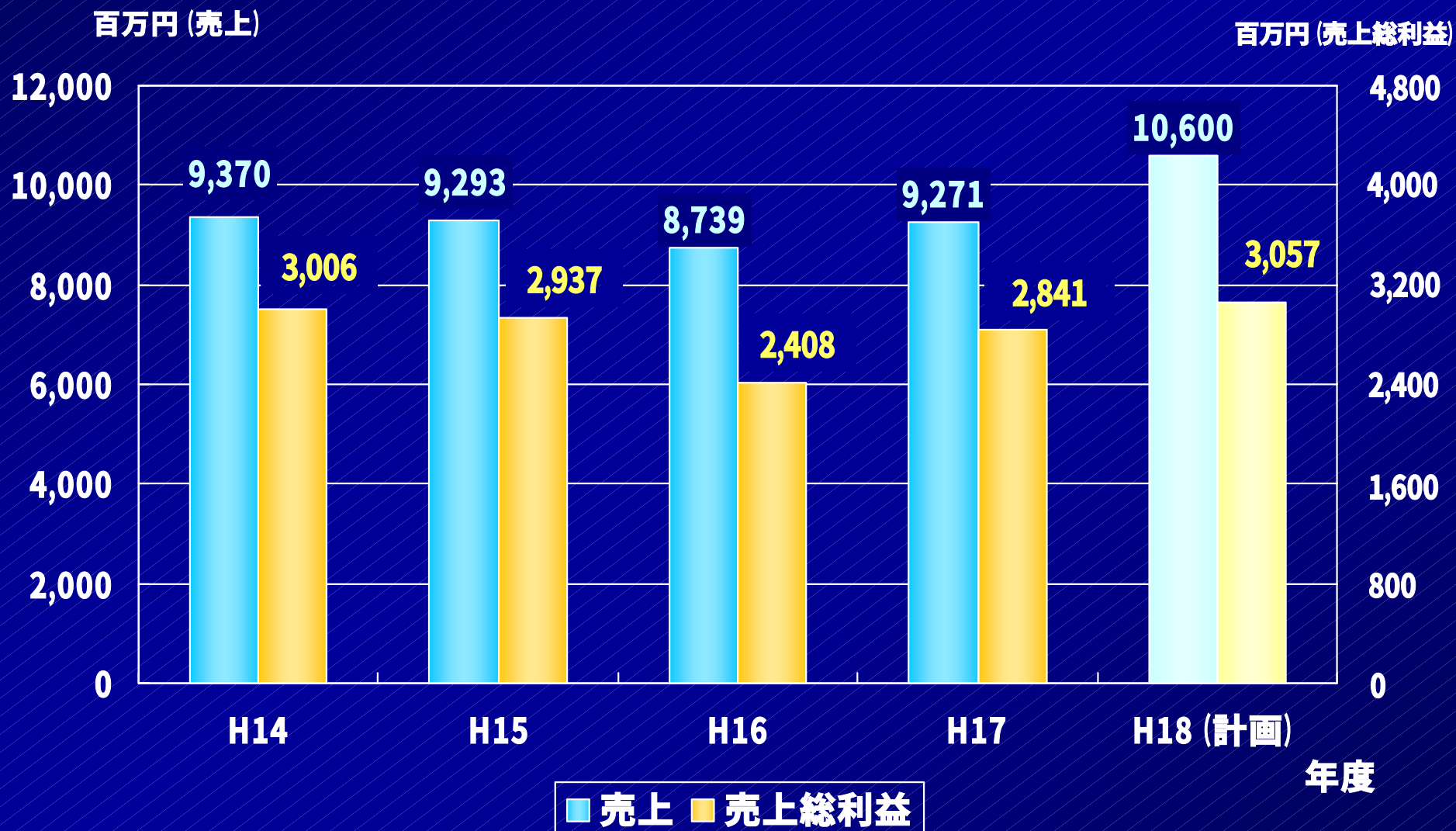
II. SECグループの中期経営戦略 **～ 国際市場に通用するエンジニアリングメーカー ～**

(Ⅰ. 事業の経過報告)

1. 売上と利益の推移

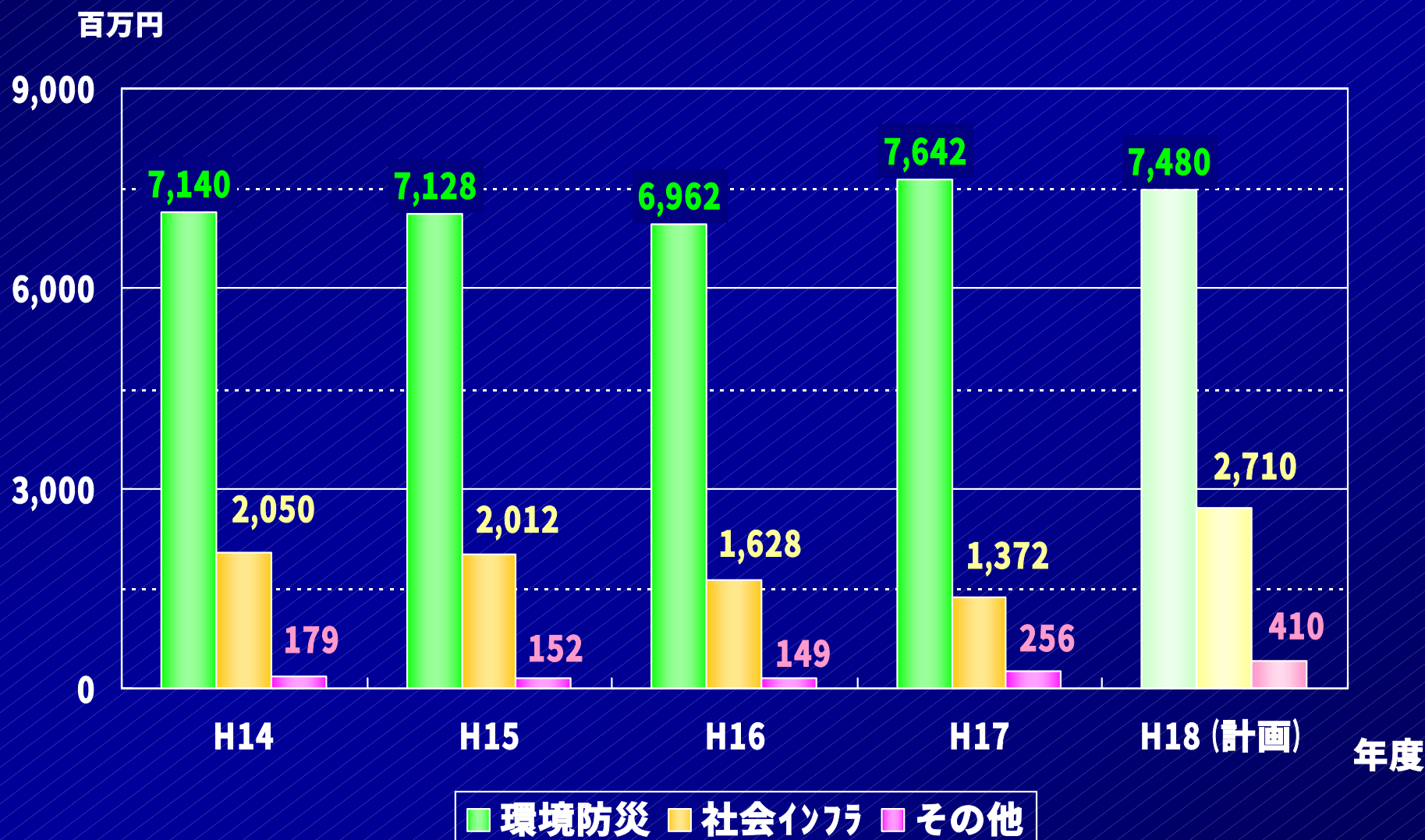
1. 売上・利益の推移

■ 売上・利益の推移 (H14～18年度)



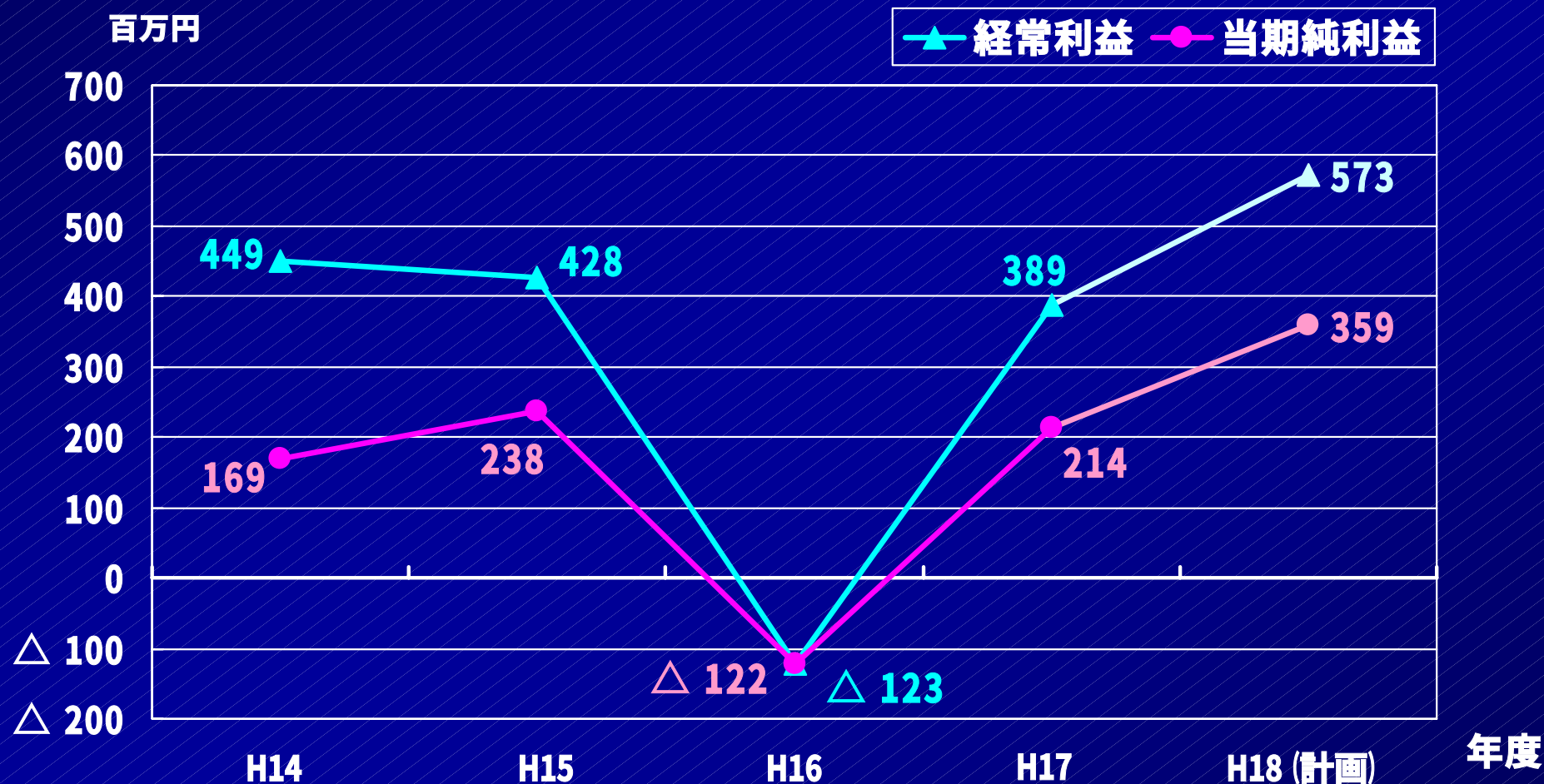
1. 売上・利益の推移

■ 分野別売上高の推移 (H14～18年度)



1. 売上・利益の推移

■ 利益の推移 (H14～18年度)



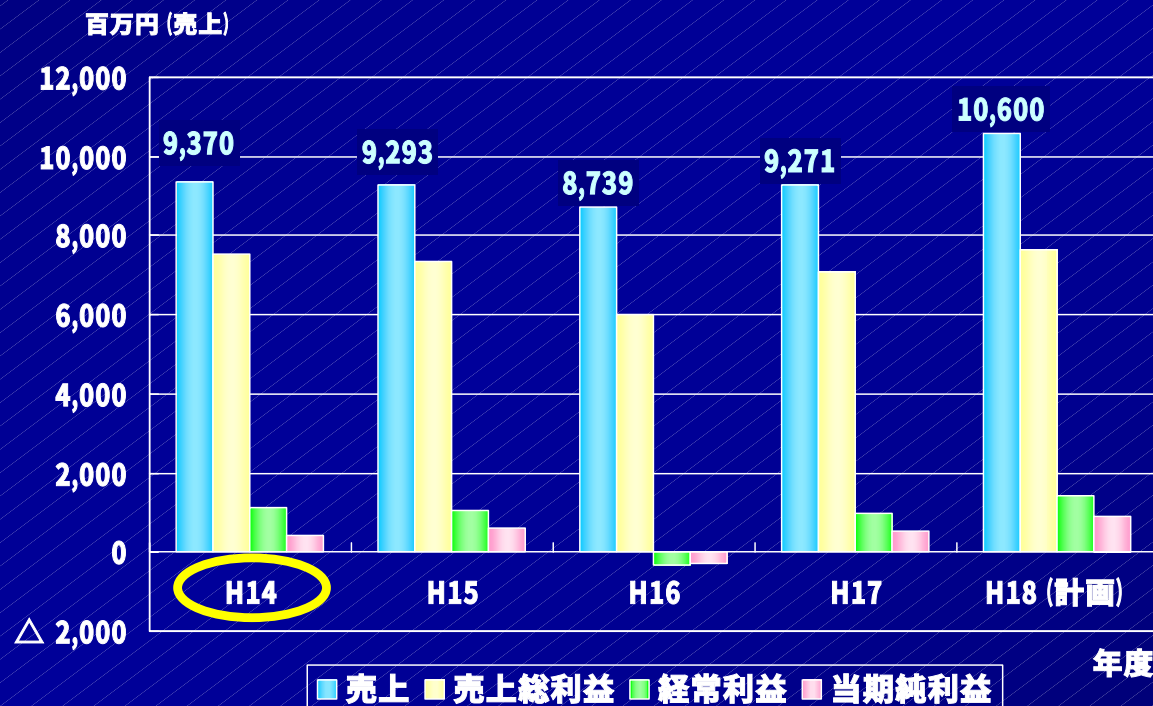
(Ⅰ. 事業の経過報告)

2. 新製品・新技術の開発

2. 新製品・新技術の開発

平成14年度

真空グラウトシステム

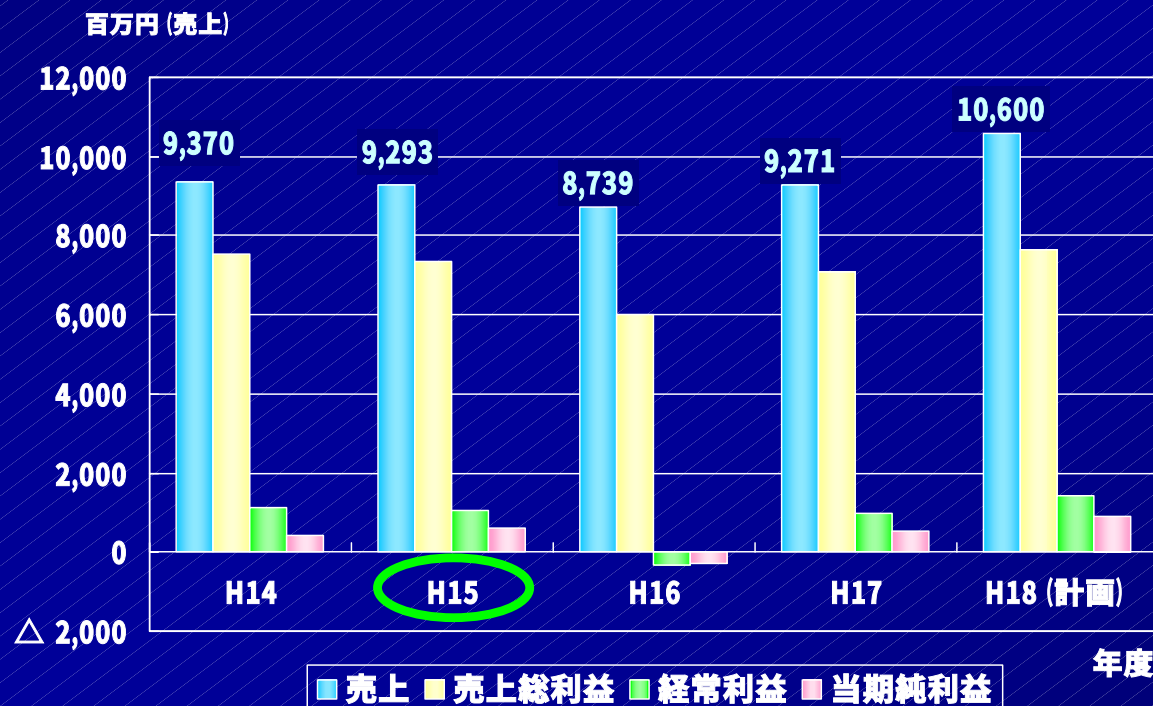


◆ PC構造物の品質を保証する技術

2. 新製品・新技術の開発

平成15年度

KIT受圧板

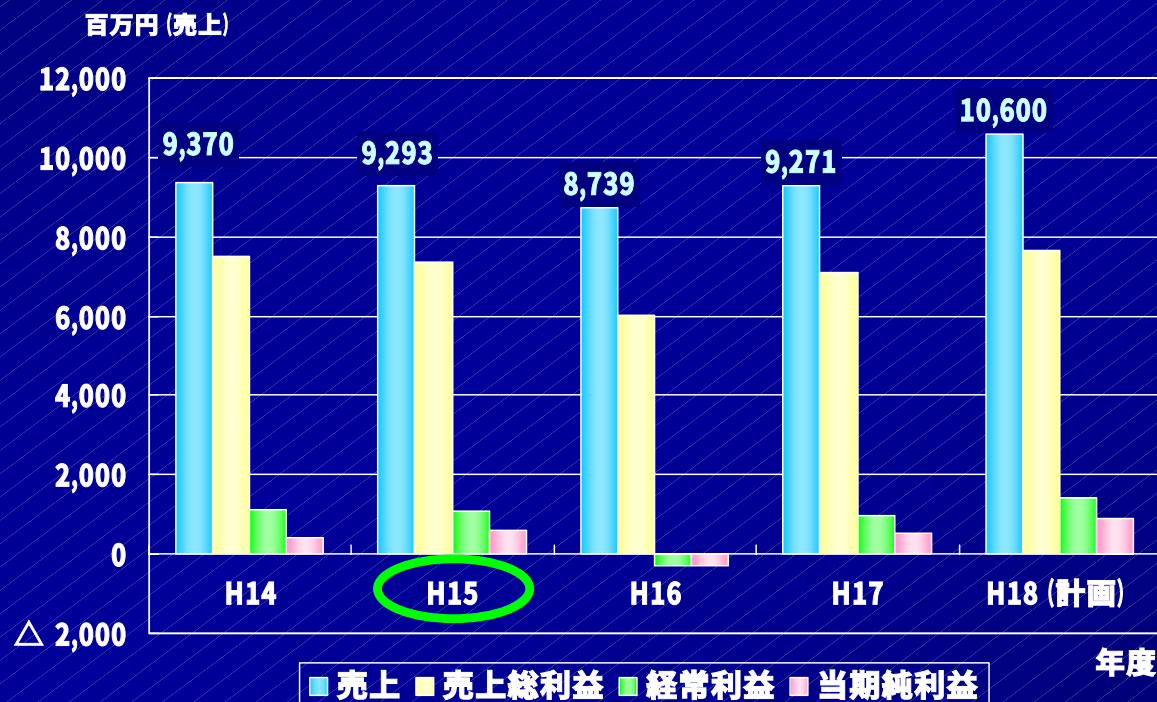
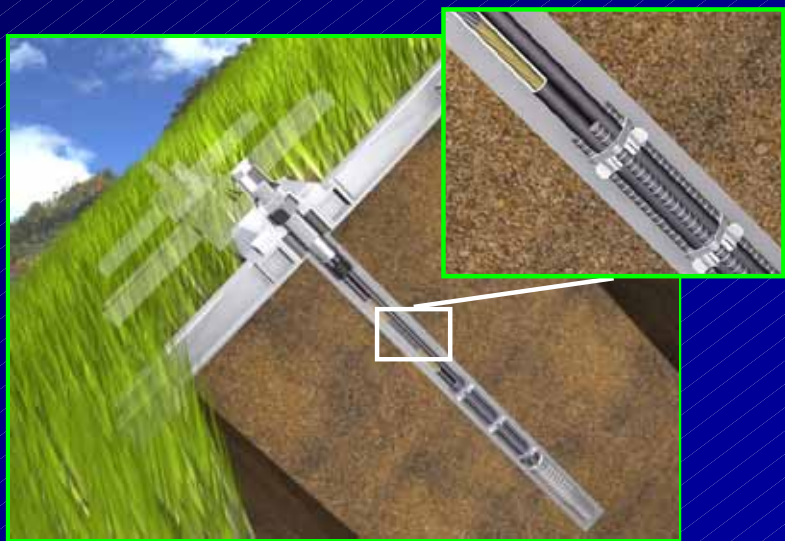


- ◆ 軽量化の実現で現場施工性の向上
- ◆ 法面の緑化により市場ニーズに対応

2. 新製品・新技術の開発

平成15年度

タイブルアンカーM型



- ◆ 削孔径の縮小により工事コスト縮減
- ◆ 脆弱地盤への応用拡大

現地生産体制の整備

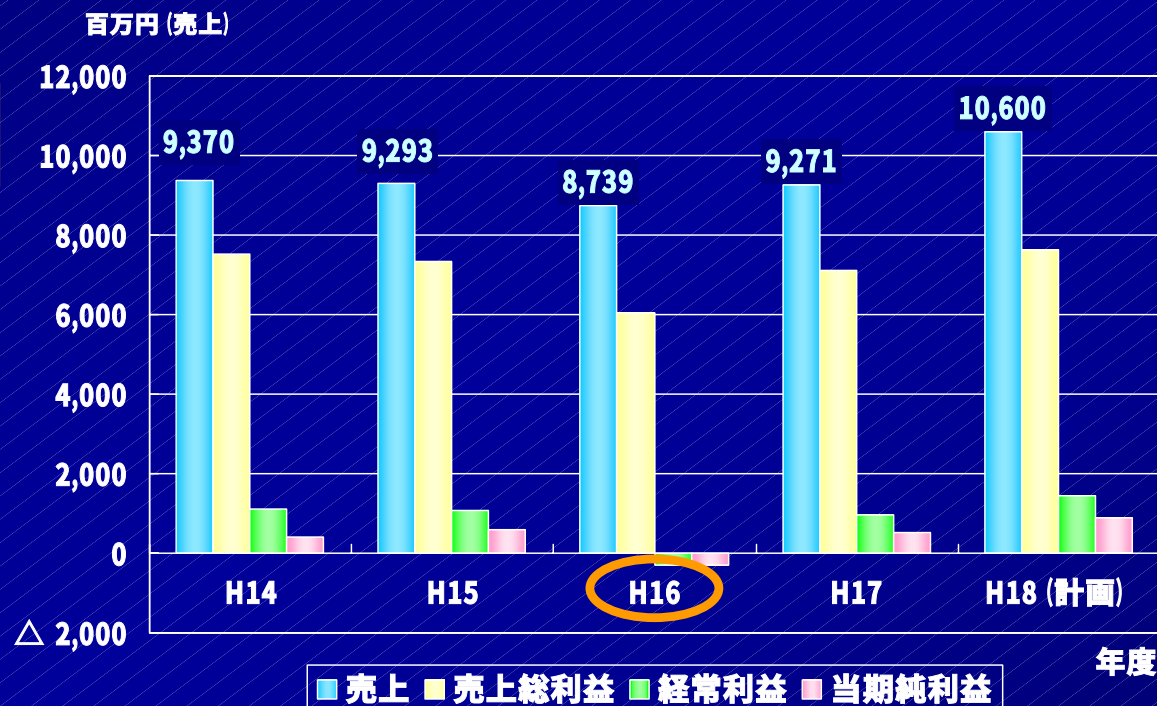


更なるコスト縮減

2. 新製品・新技術の開発

平成16年度

落橋防止装置ユニバーサルシステム

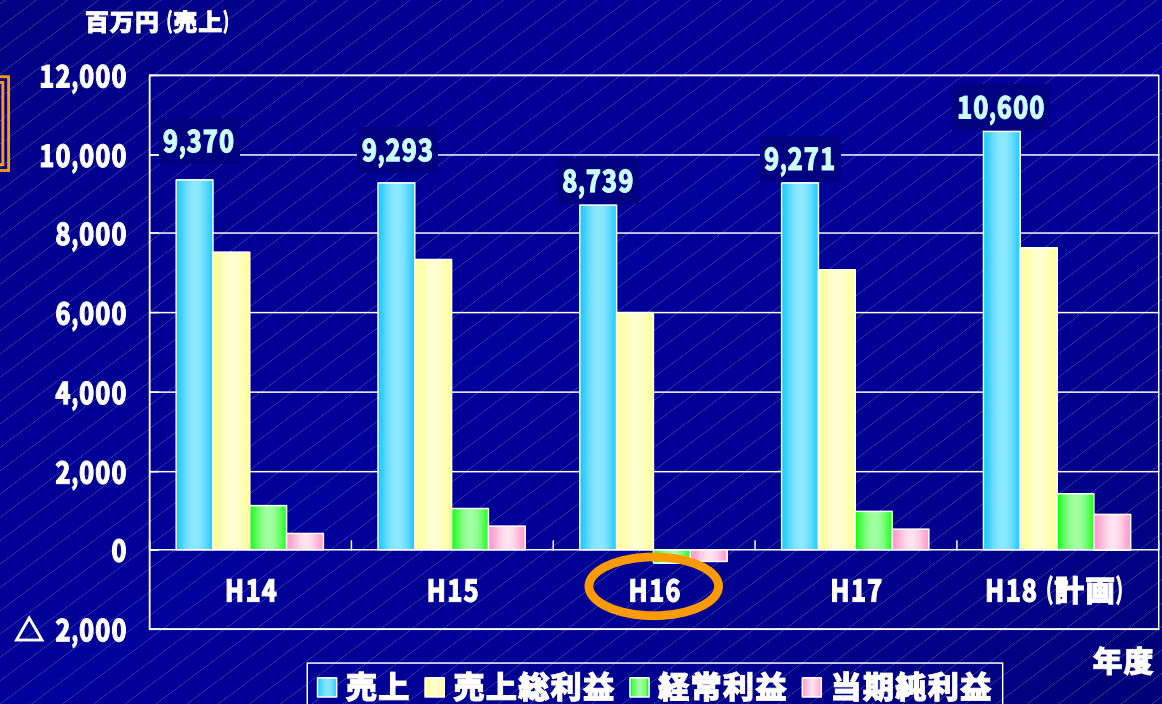


- ◆ ブラケットのコンパクト化によるコスト縮減
- ◆ コンパクトな形状と自在性による施工性の向上

2. 新製品・新技術の開発

平成16年度

建築物耐震補強 (平行構法)

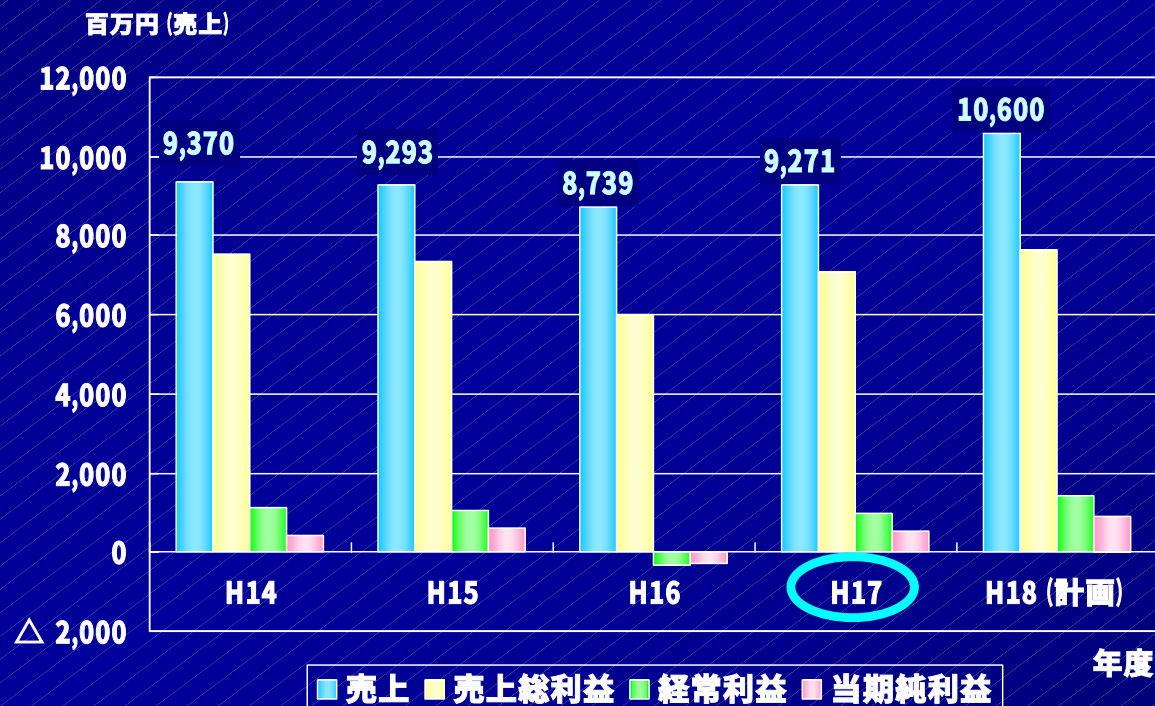


- ◆ 重要な医療施設の耐震補強 (災害時、医療施設の確保)
- ◆ 学校、体育館の耐震補強 (災害時、避難所の確保)

2. 新製品・新技術の開発

平成17年度

AQ Stressing System



◆ スピーディーで安全な新斜材架設技術の完成

(Ⅰ. 事業の経過報告)

3. 新事業への進出

3. 新事業への進出

■ 食品廃棄物飼料化プラント (バイオマス事業)

飲食店、スーパー等
からの食品廃棄物



減圧乾燥

飼料化プラント

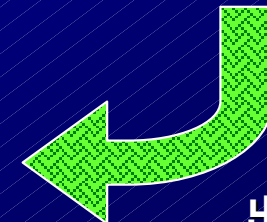
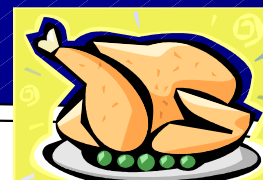


飼料

飼料化
→ 農場へ



食卓へ



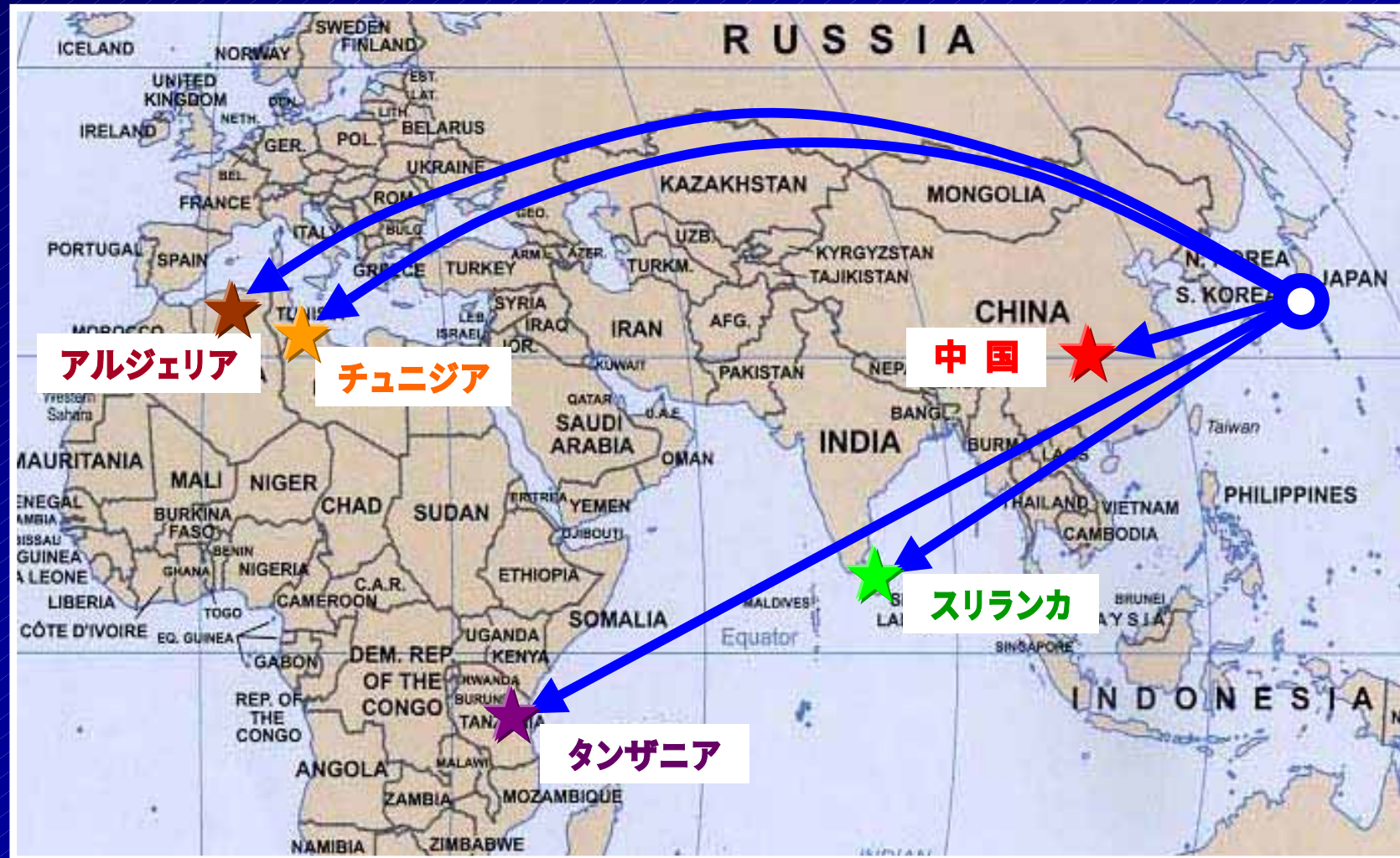
出荷

(Ⅰ. 事業の経過報告)

4. 海外市場への進出

4. 海外市場への進出

■ 平成17年度 主な海外活動地域



4. 海外市場への進出

■ 中国 重慶国立設計院との調印式 (2005年9月2日)



4. 海外市場への進出



重慶国立設計院にて



揚子江で進行中の橋梁工事



北京での講演

(Ⅰ. 事業の経過報告)

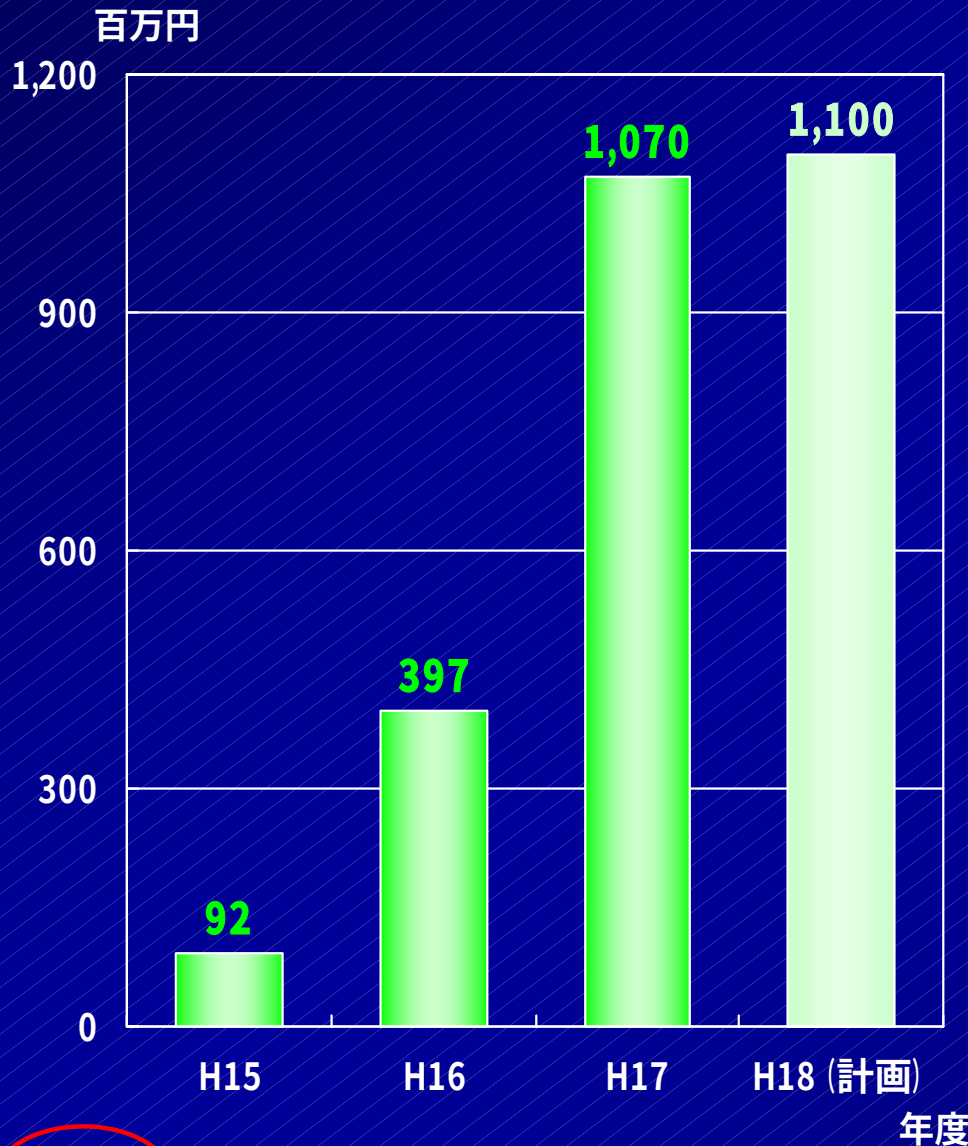
新製品・新技術開発の成果

新事業分野への展開

海外市場への展開

新製品開発の成果

KIT 売上実績・計画



KIT受圧板

3年間で10億円製品に



第2、第3のKITの創出



胆沢ダム (岩手県胆沢町 国土交通省 東北地整)

新技術の実用化

AQ Stressing System **の完成**

世界水準の斜材架設技術が完成

今年度より実用化へ

(平成18年度)

斜張橋分野で450百万円の売上を計画



新事業分野への展開

(バイオマス事業)

食品廃棄物飼料化プラントの受注

今夏より本格稼働の予定

(写真 上)

(株)宇部衛生工業社様 食品リサイクルセンター

(写真 下)

リサイクルセンター内に設置した処理装置



海外市場への展開

■ H17年度 アンジェロセックの主な海外活動



(中国) 重慶朝天門大橋架設時安定照査業務

II. SECグループの中期経営戦略

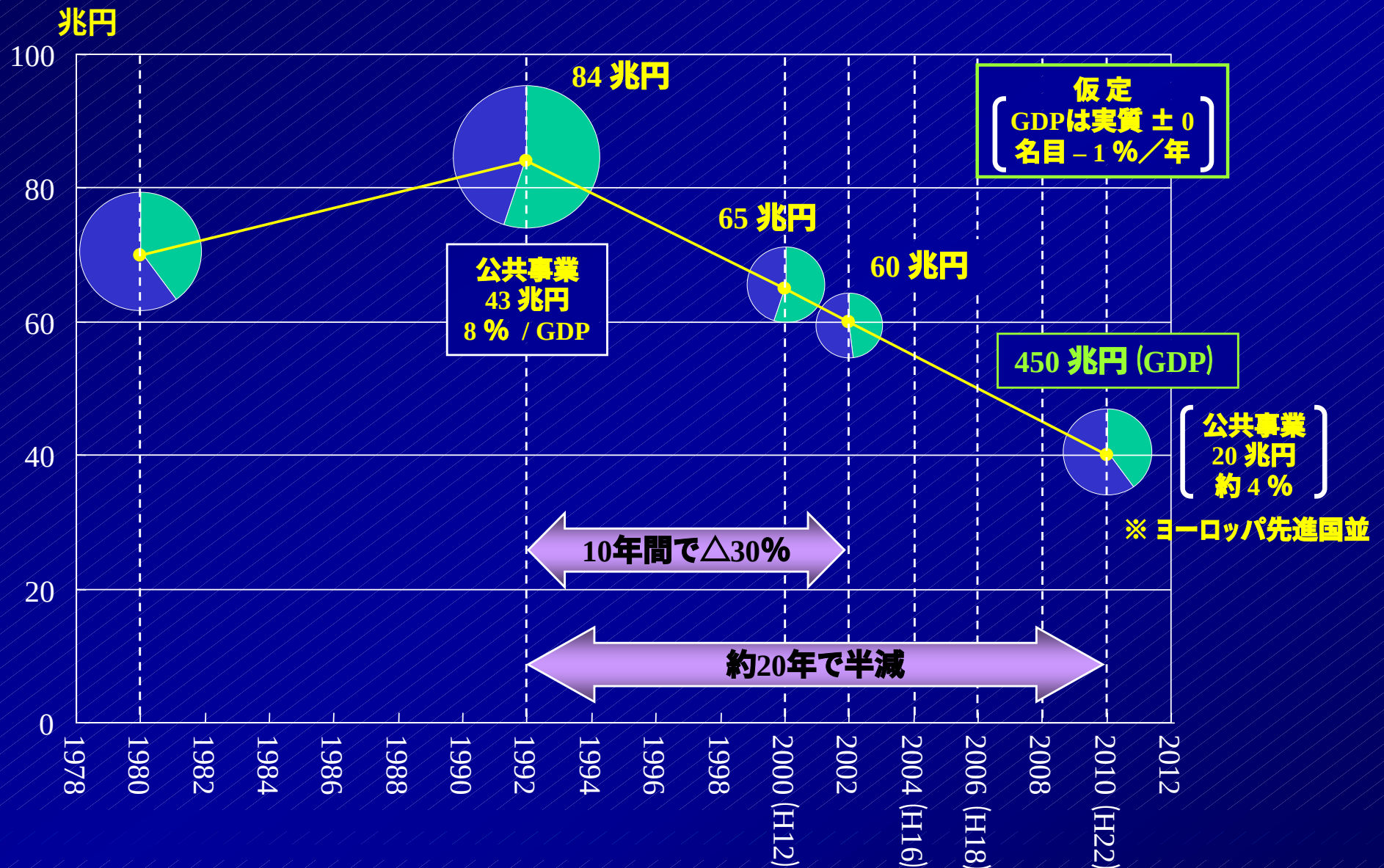
～ 国際市場に通用するエンジニアリングメーカー ～

SECグループの中期経営戦略

■ 中期計画の要諦

- 中期で150億円、長期で200億円の企業グループへ
- 国内市場と海外市場のシームレス化に対応したエンジニアリングメーカー
 - 世界市場への進出・・・斜材、バイオマス、その他新規事業
- アンジェロセックをパイロットとする国際エンジニアリングメーカー

建設市場規模の推移 (予想)



- [注] ・平成14年度以降は毎年公共事業は△3%/年であり、景気対策は金融政策のみで財政出動しないとした。
- ・公共事業は大略総建設市場の半分である (民需の低迷期以降)。

市場環境の変化と事業転換

CI手法とSECエンジニアリングセンターを活用したプロジェクトの開始

第一段階

業界分析

■ 市場環境変化の10項目 (①～⑤)

市場環境の変化	対応すべき課題に対する分析など
①市場規模の急速な縮小と産業のあり方	業界分析／市場セグメント
②護送船団方式の解体と業界のあり方	業界分析／シナリオ
③専業者再編と問題点	業界分析／ブラインドスポット
④橋梁等発注方式の変化	業界分析／サプライチェーンネット構造
⑤コスト構造改革と業界の対応	業界分析／コスト分析

市場環境の変化と事業転換

CI (Competitive Intelligence) 手法を活用し、市場環境の変化に関するデータ収集、データ分析、そしてアクションを行い、対応すべき課題を解決する

第一段階 業界分析

市場規模、専門者の在り方、産業構造や産業組織の変化、発注サイクル、コスト体質などのデータ収集・分析をする

アクション

- ① アンカー・落橋防止装置の改良開発
- ② KIT受圧板の改良開発
- ③ 宅地耐震製品開発

に関する具体策の提示

市場環境の変化と事業転換

CI手法とSECエンジニアリングセンターを活用したプロジェクトの開始

第二段階

技術・製品分析

■ 市場環境変化の10項目 (⑥～⑩)

市場環境の変化	対応すべき課題に対する分析など
⑥品確法とやるべきこと	製品分析
⑦発注者のインハウス・エンジニアリングの低下	技術評価分析
⑧建設コンサルタントの技術者は信用されない	技術トレンド分析／シナリオ
⑨コンセプト・クオリティーの国際競争力	競争力分析
⑩国外・国内シームレス化と産業代表者対応	国際市場構造分析

市場環境の変化と事業転換

CI (Competitive Intelligence) 手法を活用し、市場環境の変化に関するデータ収集、データ分析、そしてアクションを行い、対応すべき課題を解決する

第二段階

技術・製品分析

競合他社や発注者、ゼネコンの方向性、技術力や製品開発力などのデータを収集・分析する

アクション

～ シームレス化と Nominated Sub-Contractors の時代に対応できる ～

- ① 環境防災事業部門の製品・工法の開発
- ② 社会インフラ事業部門の製品・工法の開発
- ③ インハウス・エンジニアリングとしてゼネコンとコラボレーションできる工法の開発

に関する具体策の提示

エンジニアリング会社への展望

➤ 建設業界のシステム再編

- ✓ ゼネコン・・・マネージメント
- ✓ 専業者・・・各専業の工事

当 社

Collaborator

Engineering Consultant

- ゼネコンのCMをサポート
- 技術、施工法の開発
- ソフトウェアの開発

(協力)

各 案 件

鋼 橋

PC
構造物

基礎等

ゼネコン

マネージメント (Construction Management) に集中する

鋼 橋

PC
構造物

基礎等

各 専 業 者

Nominated Sub-Contractors

SECエンジニアリングセンター

SEC エンジニアリングセンター

(2つの機能と役割)

技術・戦略企画

- ① 製品・工法・開発の選択
- ② 国際・国内競争技術対策
- ③ 国内市場、技術戦略
- ④ 国際市場、技術戦略
- ⑤ アンジェロップとの協力関係
- ⑥ VINCI GTM社との協力関係
- ⑦ 国内：企業・大学などとの協力

エンジニアリング・ソリューション

- ① 国内市場設計・施工指導
(アンジェロセック)
- ② 国内ゼネコンとのインハウス・コンサルタント事業
- ③ 国際市場でのゼネコンとの協力
(アンジェロセック)
- ④ 構造物・設計・施工法の開発
- ⑤ コンピューター構造プログラム
(設計用) の開発
- ⑥ SEE協会との共同研究



SEC 構造エンジニアリング部門対応

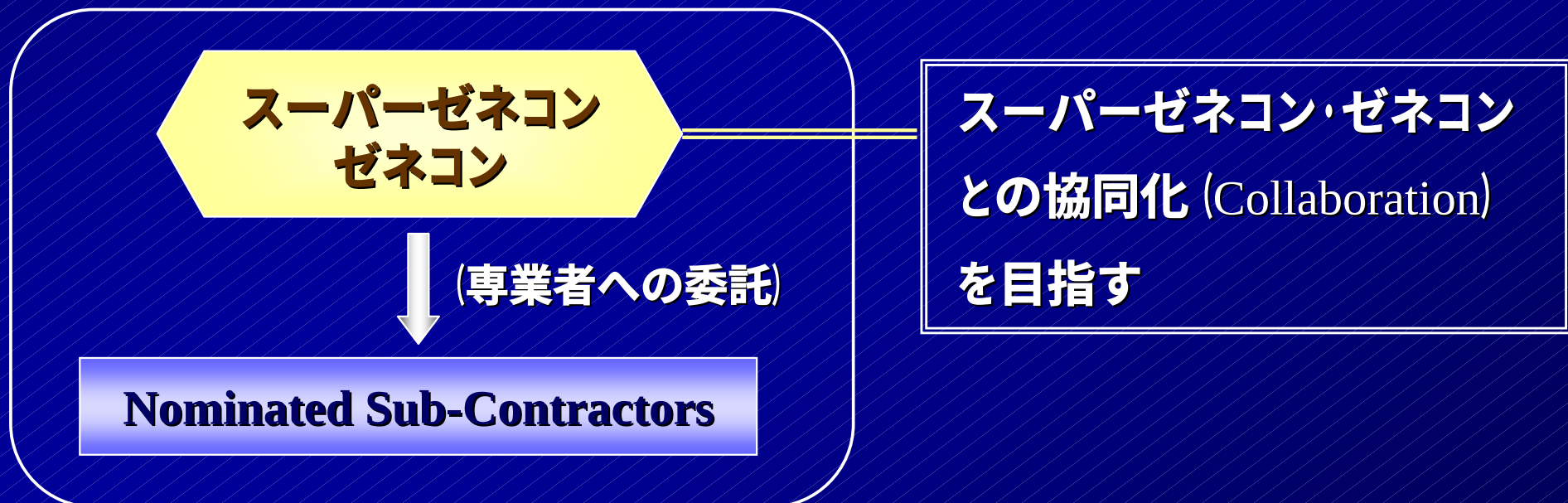
SECグループの中期経営戦略

市場環境のキーポイント

1. シームレス (Seamless) 化

- 国内と海外の境目がなくなる 国内市場の国際化の進展

2. Nominated Sub-Contractors の時代



SECグループの中期経営戦略

市場環境のキーポイント

3. 新市場・新需要の発生

- 品確法の制定
- 総合評価落札方式の導入 (Value Engineering)
- 設計・施工一括発注方式 (Design Build方式)

➡ 低コスト、短期間、高品質で工事を行う必要性

コスト構造の改革、ソフトウェアリングの重要性が高まる

新規需要の発生

新製品の開発

新規市場の開拓

SECグループの企業像と位置づけ

Stage 3

SECグループの企業像

売上200億円企業

- 建設産業と業際分野での世界的エンジニアリングメーカー

Stage 2

中期目標

売上150億円企業

- 新製品開発
- 斜材市場拡大、国際化
- アンジェロセックとアンジェロップの協同化で国際ビッグプロジェクト参加
- エスイーバイオマステクノの事業拡大
- M&Aによる企業拡大

Stage 1

現在の姿

エンジニアリングメーカー

- 環境防災事業
- 社会インフラ事業
- アンジェロセック 国際市場
- エスイーバイオマステクノ
- 売上100億円超グループ

SECグループの企業像と位置づけ

Stage 1

現在の姿
エンジニアリングメーカー

- 環境防災事業
- 社会インフラ事業
- アンジェロセック 国際市場
- エスイーバイオマステクノ
- 売上高100億円グループ

- 徹底的なマーケティング
- 顧客の創造と潜在需要の掘り起こし



- ◆ 見えない市場を見つけ出す
- ◆ 隠れている需要を掘り起こす

- 3つの原価削減と合理化の継続



- ◆ 製造原価・販売原価・管理原価
→ 3つの原価の削減

- 競争に勝ち、成長を続けるための
人材育成
- 経営幹部の育成



- ◆ シームレス化に対応した人材育成
→ 生産性の向上、競争力強化

- 業務改善運動



- ◆ 高利益体質の企業となるための
業務改善

SECグループの企業像と位置づけ

Stage 2

中期目標

売上150億円企業

- 新製品開発
- 斜材市場拡大、国際化
- アンジェロセックとアンジェロップの協同化で国際ビッグプロジェクトに参加
- バイオマス事業での技術進化と業容拡大
- M&Aによる企業拡大

• 世界市場への進出



- ◆ 斜材プロジェクト
- ◆ アンジェロセックによる海外プロジェクト (アンジェロップとの協同)
- ◆ バイオマス事業
- ◆ その他新規事業、新製品

• M&Aと業種拡大



- ◆ 他企業と連携し、グループの一翼を担う新しい事業の育成

SECグループの企業像と位置づけ

Stage 3

SECグループの企業像

売上200億円企業

- 建設産業と業際分野での世界的エンジニアリングメーカー

- アンジェロセックをパイロットとする国際エンジニアリングメーカー



- ◆ 技術の国際化に対応
→ アンジェロップ等との積極的な連携

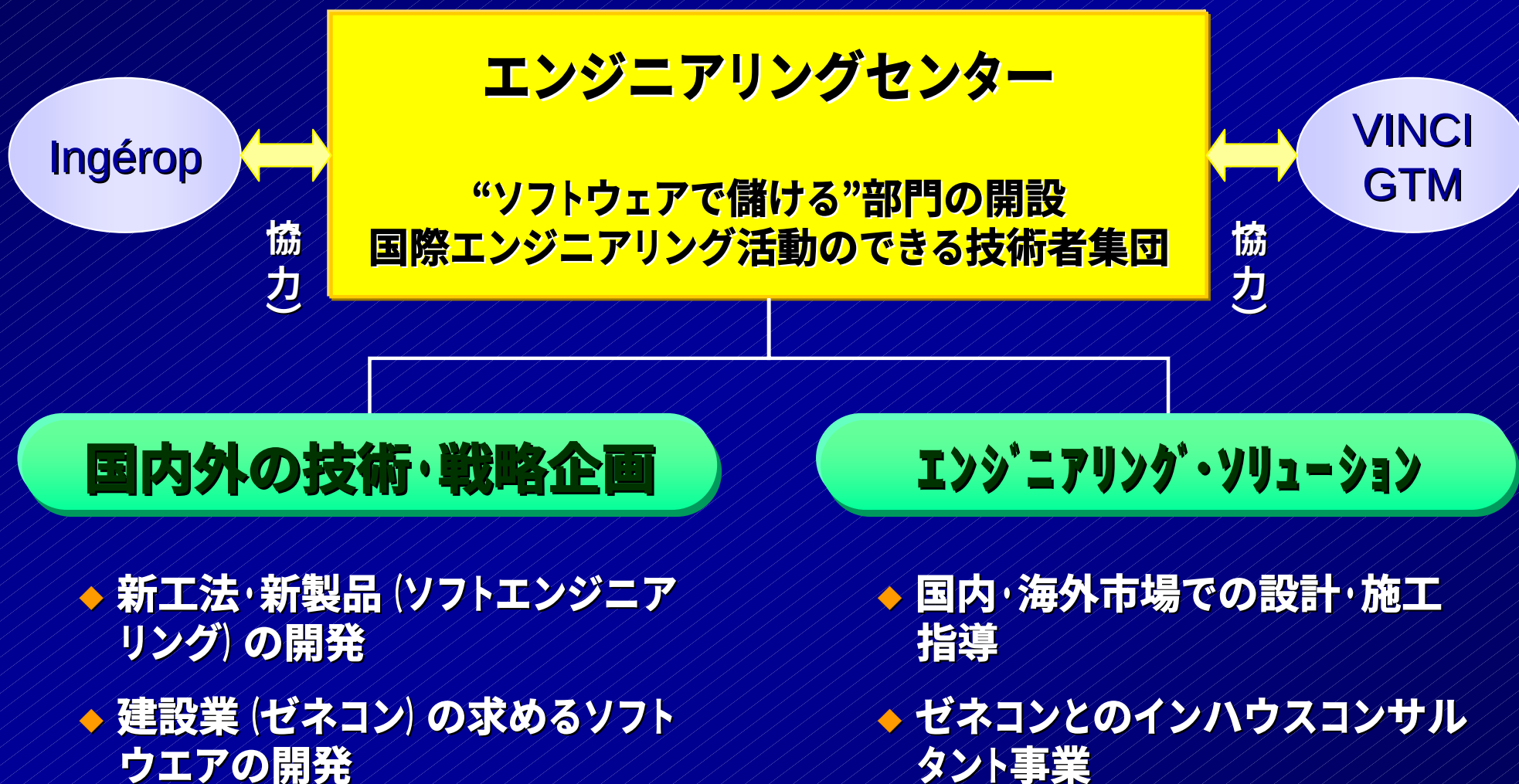
- シームレス化に対応したエンジニアリングメーカー
- ソフトエンジニアリングとマネジメント力



- ◆ 「作る技術」から「総合エンジニアリング」への移行
- ◆ 世界レベルのソフトエンジニアリングの開発と強化
- ◆ 発注者の利益を最大化させる
Construction Managementを備える
発注者の利益の最大化
＝利用者の満足度の最大化

SEC エンジニアリングセンター

✳ エンジニアリングセンターの設置



SEC エンジニアリングセンター

エンジニアリングセンター

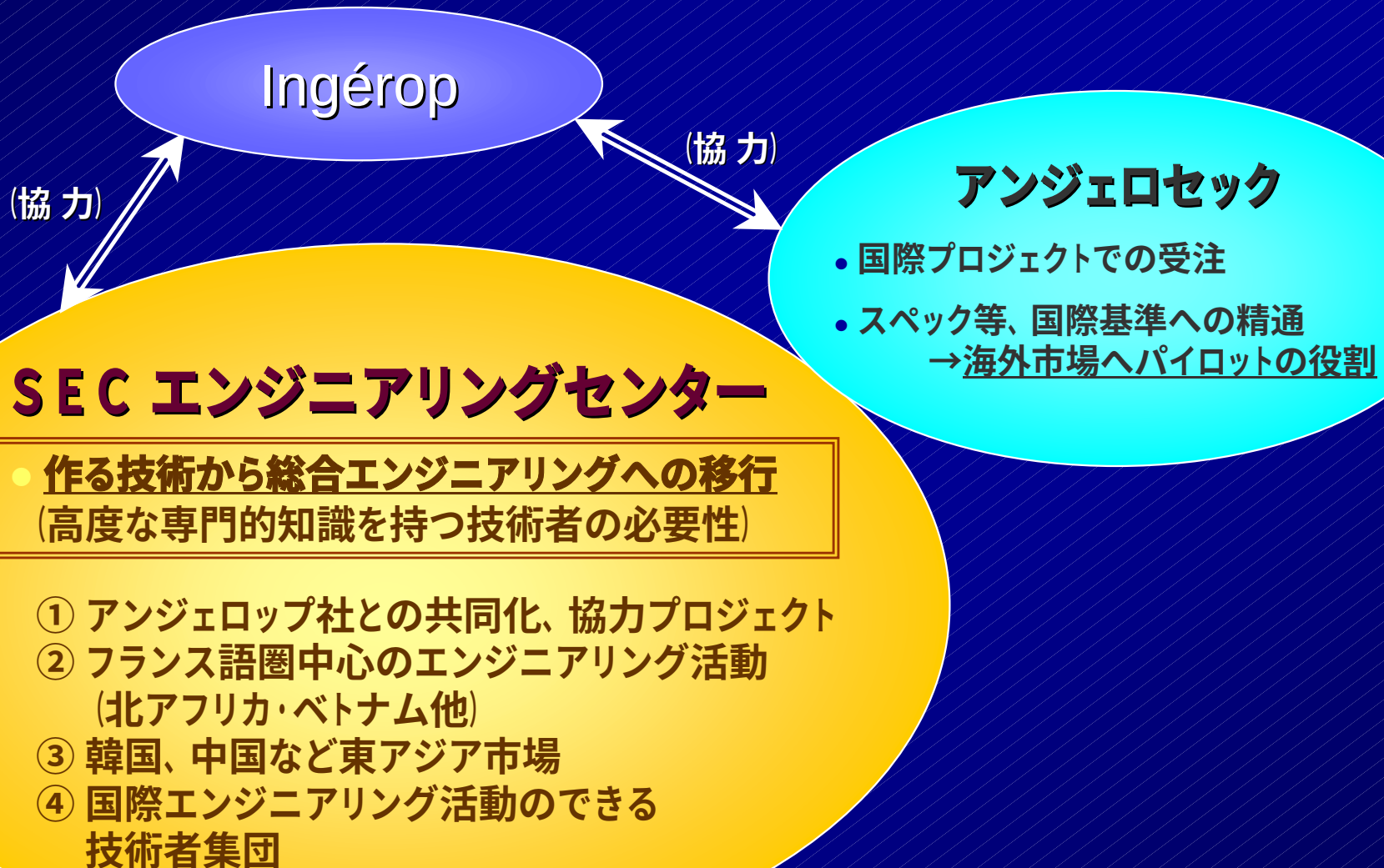
- ◆ オリジナリティーと創造性のある技術開発センター
- ◆ セールスとエンジニアリングのコネクションができるセンター
- ◆ S E E E 協会と共同事業を行うセンター



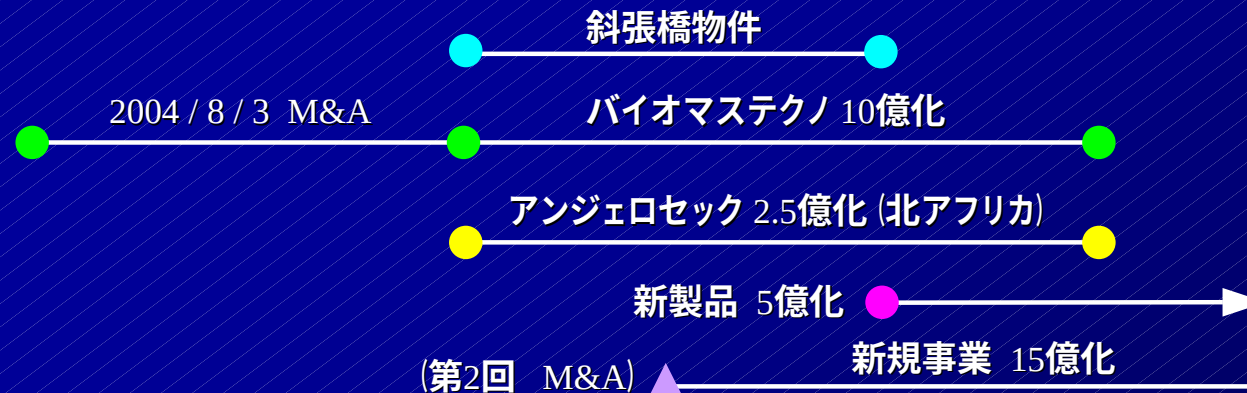
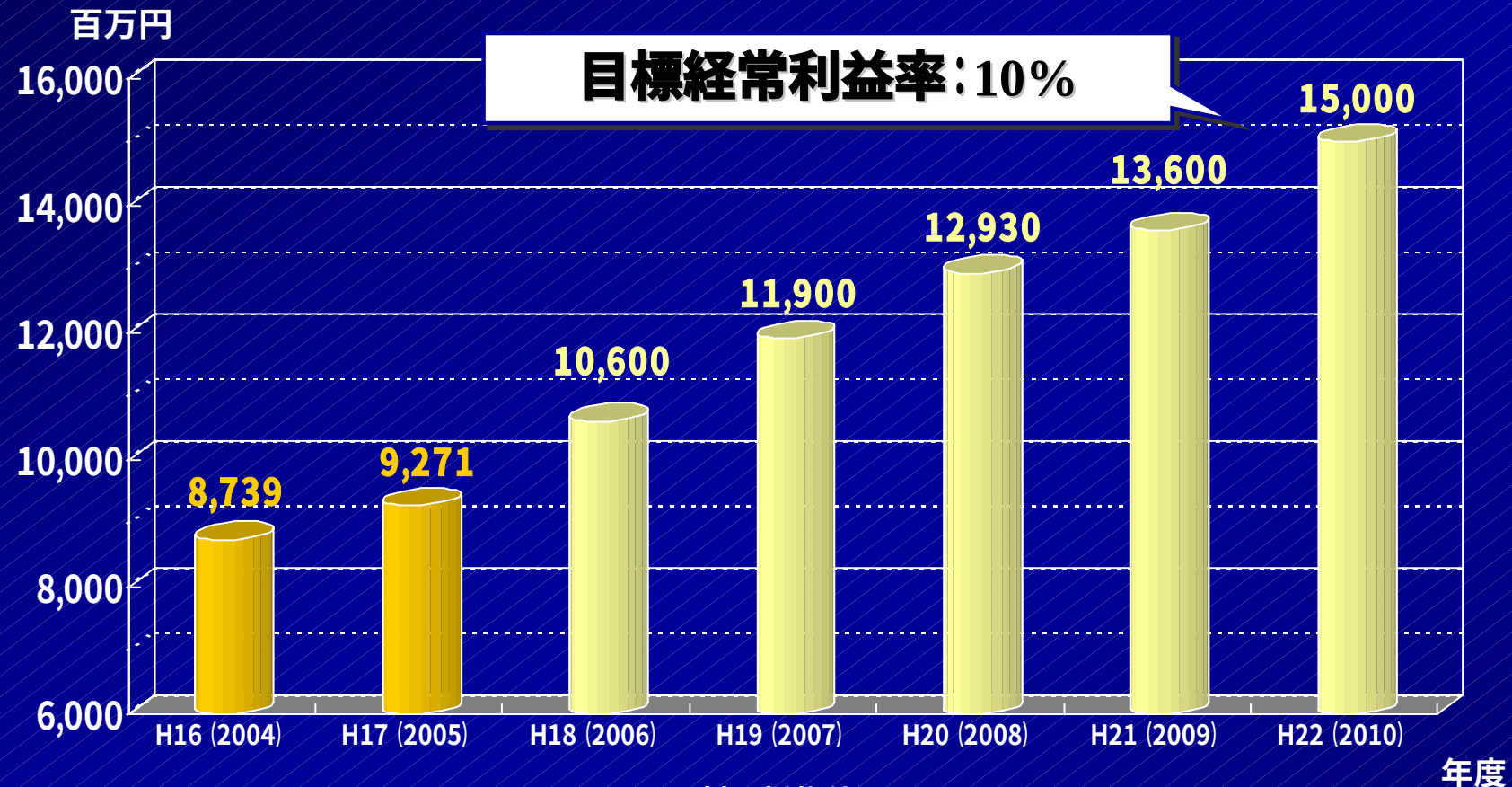
- 製品だけでなく、ソフトウェアで儲ける
- エスイー、アンジェロセックのソフト部門強化
- ゼネコンが求める工法・製品の開発
- 東アジア、北アフリカへ事業展開
- 国際プロジェクトの受注

SEC エンジニアリングセンター

■ アンジェロセック、アンジェロップ社との関係



SECグループの中期売上計画



SECグループの各セグメントと事業分野

株式会社 **エスイー**

環 境
防災事業

S1

社 会
インフラ事業

S2

開 発

S3

Ingérop

国際プロジェクト協力

株式会社アンジェロセック

エンジニアリング
コンサルタント
S1

北アフリカ
韓国・中国
アジア
S2

SVと
事業掘起し
S3

K-SEC

T.I.S

九春工業

重慶設計院

エスイーバイオマステクノ株式会社

S1
残渣、プラント
エンジニアリング
飼料化

廃棄物
リサイクル
発 電

飼 料
食 健

地 方 の 環 境

T.I.S

重慶設計院

SEC

SE Corporation

Globality Engineering Maker

SEC

株式会社 エスイー